

黒

髪で黒い目が日本人だと
しても、金髪で青い目が
必ずしもロシア人とは限
りません。ユーラシア（ヨーロッパ
+アジア）のロシアには、ヨーロッ
パ諸国からだけでなく、キルギス、
ウズベキスタン、カザフスタンなど
旧ソ連諸国から、さらには中国、
モンゴル、ベトナムなどのアジア
諸国から、たくさん外国人が集
まっています。

モカブラウン、チョコレートブラ
ウン、ピンクブラウン、ハニーブラ
ウン……と、同じ髪の色を少しで
も他人と差がつく色に染め、自分
の顔型やファッションに合わせて
頻繁にヘアスタイルを変えて個性
を演出する単一民族の日本では、
自分らしさを求める雑誌の特集が
頻繁に生まれ、血液型やライフス
タイルや仕事にいかにもオリジナリ
ティがあるかに注目が集まりがち
です。

差を、常に埋めていかねばならな
いため、逆にひとつのモノや気持
ちを共有したいという思いが強い
ように感じます。

初めてのロシアのお正月を、最
もロシアらしい場所……と赤の
広場でカウントダウンを迎えた際
にも、11時55分になり、大きなス
クリーンにプーチン大統領が現れ
たときのロシア人の盛り上がりは
すごいものでした。

あまりにも広すぎるから、あま
りにも大きすぎるから、あまりに
も多すぎるから、せめて全体とし
てひとつにまとまりたいという意
識があるのでしょうか。

サッカーでもホッケーでも個人ブ
レーが注目される欧米に比べ、ソ
連伝統のプレススタイルは、
強い監督のもとで、パス回
しを重視しています。

5月には新大統領が就
任します。新たな強い監
督のもとで、いったいロシ
アではどんなパス回しが
行われていくのでしょうか
……？



大統領選



日

本では、角を
曲がればコンビ
ニエンス・スト
ア、という感じですが、
今のモスクワでは、角を
曲がれば日本食レストラ
ン、と言っても過言ではありませ
ん。ロシアというだけで何も知ら
ずにイメージだけで敬遠されてし
まいがちな日本と反対に、ロシア
では日本というだけで何も知らず
にイメージだけでお客さんが集まっ
たりということもあるそうです。

「夢」「誠司」「桜」……をはじめ、
調理師会を発足させて本物の日本
食の普及に努める職人さんたちも
いるのですが、多くのお店はびっく
りするような日本食メニューで溢
れています。

味噌を溶いただけの「味噌汁」
や日本そばを炒めた「焼きそば」、

日本ブーム

お寿司を天麩羅にした
「寿司天麩羅」……。車
や電化製品だけでなく、
ロシア版のマツモトキヨ
シともいえるドラッグス
トアのチェーン店には「春
冬秋夏」「幸子」なんていう漢字つ
きのシャンプルーが置いてあったり、
スーパーでも3倍以上の値段で日
本の果物やペットボトル飲料が売
られていたりします。

ロシアでも人気のある北野武監
督は、モスクワ川沿いの、ロシア
人が写真を撮るほどの大きな広告
に登場し、TVCではロシア語
を話しています。

昨年モスクワでは、「日本ブーム
は本物か？」なんていうイベン
トも開催されましたが、次のブーム
を作るのは、もしかしたら、あなた
かもしれません。

